

平成26年度 エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画 ＜首都大学東京 南大沢キャンパス＞

1 はじめに

本キャンパスには、東京都の環境確保条例において厳しい温室効果ガス削減義務が課されており、その達成のためには本格的にエコキャンパス・グリーンキャンパスを推進していく必要がある。

このため、平成24年3月、現下の削減期間（22年度から26年度の5年間で年平均8%）における義務を達成することを第一義に考慮し、24年度から26年度までの3か年（条例上の第一計画期間のうち24年度以降の残りの期間（年度））を計画期間として、「エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 基本計画＜首都大学東京 南大沢キャンパス＞」を定め、それに基づき、「平成24年度エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画＜首都大学東京 南大沢キャンパス＞」及び「平成25年度エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画＜首都大学東京 南大沢キャンパス＞」を定め、その項目を実施してきたところである。

本実施計画は、上記基本計画に基づき、平成26年度に実施すべき事項を具体的に明らかにするものである。

※1 条例上の削減計画期間は以下のとおり。

【第一計画期間】平成22～26年度（年平均8%の温室効果ガス削減義務）

【第二計画期間】平成27～31年度（年平均17%の温室効果ガス削減義務）

※2 上記削減義務は南大沢キャンパスのみが対象となっている。

※3 省エネ法により、両期間を通じて法人全体に年1%の使用エネルギー削減義務が課されている。

2 計画の内容

別表のとおり。

3 計画の進行管理

エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会南大沢キャンパス部会が行う。

必要に応じて、エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会や教育研究審議会、経営審議会へ報告を行う。

平成26年度 エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画

＜ 首都大学東京 南大沢キャンパス ＞

| 項目 | 計画期間における方向性 | | 各年度における実施事項 | | 平成26年度実施項目 |
|------------------------------------|--|---|---|---|--|
| | 平成24～26年度 | | 平成24年度 | 平成25年度 | |
| 1 環境負荷軽減 | | | | | |
| (1)省資源・省エネルギー対策 | | | | | |
| ①削減数値目標の達成 | | | | | |
| 【条列】 温室効果ガス (南大沢キャンパスのみ) | 24年度 削減目標▲8%(基準排出量比) 25年度 削減目標▲9.2%(") 26年度 削減目標▲10.4%(") ※基準排出量:14～16年度における温室 効果ガス排出量の年平均 11,592[t- CO2] | 削減目標▲8%(基準排出量(14～16年度の温室効果ガス排 出量の年平均、11,446[t-CO2])比)の達成 <平成24年度実績> 基準排出量比13.3%減 | 削減目標▲9.2%(基準排出量(14～16年度の温室効果ガス排 出量の年平均、11,446[t-CO2])比)の達成 <平成25年度実績> 25年4月～26年1月(実績) 基準排出量比14.4%減 25年度末(見込) 基準排出量比15.6%減 | 削減目標▲10.4%(基準排出量(14～16 年度の温室効果ガス排出量の年平 均、11,446[t-CO2])比)の達成 | ・26年度はこれまでの計画どおり、10.4%(基準排出量(14～16年度の特定温室効果ガス排出量の年平均、11,446[t-CO2] 比)削減する。 【理由】 ①22～26年度で年平均8%の削減が条例で規定されており、22年度に5.2%、23年度に14.5%、24年度に13.3%、25年度に 15.6%削減(25年度は見込)したため、条例で定める数値目標を達成するためには26年度は8.6%増以上に抑制すればよい こととなる。 ②しかし、27～31年度には年平均で17%の削減が義務付けられており、27年度以降の厳しい削減目標に向けて、段階的 かつ計画的に削減していく必要があるため。 |
| 【省エネ法】 原油換算使用量 | 24年度 削減目標▲1%(前年度比) 25年度 削減目標▲1%(") 26年度 削減目標▲1%(") | 削減目標▲1%(前年度比)は未達成 <平成24年度実績> 前年度比 0.8%増 | 削減目標▲1%(前年度比)の達成 <平成25年度実績> 25年4月～26年1月(実績) 2.6%減 25年度末(見込) 2.2%減 | 削減目標▲1%(前年度比)の達成 | ・エネルギー使用量(原油換算)を前年度比1%削減する。 【理由】 ①26年度は、22年度に法人が省エネ法によりエネルギー使用量(原油換算)を中長期的(5年間)に年平均1%以上削減す る対象となってから5年目となる。 ②南大沢キャンパスにおいて5年間(22～26年度)に年平均1%以上の削減を達成するためには、省エネ法で定めるエネ ルギーの使用に係る原単位(エネルギー使用量を床面積で除したもの)について、23年度は対前年度比10.1%減、24年度は 対前年度比0.5%増、25年度は対前年度比2.2%減(25年度は見込)であるため、26年度にエネルギー使用量(原油換算)を 8.5%増以下に抑制すればよいこととなる。 ③しかし、今後も、継続的に、年度毎に、その年度を含む5年間の年平均1%以上の削減義務を達成するためには、計画的 に毎年度1%以上削減する必要があるため。 |
| ・照明の削減、中央空調の室温管理の徹 底等 | 現在実施している照明、空調対策の検証 <平成24年度実績> キャンパス内の照明、室温等についてアンケート調査及び 実地の計測 | 検証結果の反映 <平成25年度実績> ・照明を点灯する時間、範囲を詳細に設定し、共用部の適正 な照度を確保 ・照明設備更新工事において、廊下の一部に照明用の人感 センサーを導入 ・教室の扉を閉めることを徹底して、空調を効率的に運転 ・各室の特徴、データを収集するなどして、空調運転時に木 目細かに適正な室温を確保 | 検証結果の反映 | ・適正な照度を確保した照明の削減方法、適正な温度の範囲内での中央空調の室温管理等について、引き続き具体策を 立案し、可能なものから実施していく。 | |
| ・設備の運用改善 | 23年度に行った空調設備の運用の一層の改善 <平成24年度実績> 空調設備の運用改善について検討し、冬期におけるガス 使用空調について効率的に運用 | 空調等の設備の運用改善の取組み <平成25年度実績> 空調使用時に温度、稼働範囲、稼働時間を詳細に設定して 空調を効率的に運転し、電気、ガスの使用量を削減 | 空調等の設備の運用改善の取組み | ・空調設備の運用について、引き続き管理運営面から検討し、一層の改善を図る。 | |
| ②ソフト対策 | | | | | |
| ・教職員、学生への啓発の強化 | ・ポスターによる節電等の啓発強化 ・大学のHPにおける電力使用状況の情報提供の継続、充 実 <平成24年度実績> ・省エネルギーの啓発、夏期及び冬期の電力使用抑制に ついて、ポスターを掲示 ・大学のHPに電力使用状況について情報を提供するととも に画面を充実 | ・ポスターによる節電等の啓発強化 ・大学のHPにおける電力使用状況の情報提供の継続、充 実 <平成25年度実績> ・教職員、学生に対して、室温管理の適正化、無駄な電力を 使用しない等の啓発活動を強化するため、ポスターを引き続 き掲示 ・大学のHPにおける電力使用状況の情報提供について継 続するとともに、より詳細なデータを把握 | ・ポスターによる節電等の啓発強化 ・大学のHPにおける電力使用状況の 情報提供の継続、充実 | ・教職員、学生に対して、室温管理の適正化、無駄な電力を使用しない等の啓発活動を強化するため、ポスターを引き続き 掲示する。 ・大学のHPにおける電力使用状況の情報提供について継続し、充実を図る。 | |
| ・大学HPの専用コーナーの立上げ | 立上げ <平成24年度実績> 大学HPのトップページに専用コーナー「エコキャンパス・グ リーンキャンパス～環境負荷の軽減～」を開設し、エコキ ャンパス・グリーンキャンパスについて実施した取組み、成果 等を掲載 | 掲載内容の充実 <平成25年度実績> 大学HPに開設した専用コーナーを更新して、記事を充実 | 掲載内容の充実 | ・大学HPに開設した専用コーナーを更新、充実する。 | |
| ③ハード対策 | | | | | |
| ・今後の施設改修計画に係る検討、見直 し | 各施設改修工事における省エネルギー性の高い機器への 更新 <平成24年度実績> 照明設備更新工事、理工系実験空調換気設備改修工事、 給排水衛生設備改修工事の完了により、蛍光灯のイン バータ化、ダウンライト照明のLED化等省エネルギー性の 高い機器へ更新 | 各施設改修工事における省エネルギー性の高い機器への 更新 <平成25年度実績> ・照明設備更新工事、理工系熱源機器設備等改修工事にお いて、蛍光灯のインバータ化、ダウンライト照明のLED化を 推進するとともに、理系の中央空調設備(冷温水発生器、冷 温水ポンプ、エアハンドリングユニット)を省エネルギー性の 高い機器へ更新 | 各施設改修工事における省エネル ギー性の高い機器への更新 | ・26年度に実施予定の理工系熱源機器設備等改修工事において、省エネルギー性の高い空調機器に更新を進める。 | |
| ・キャンパス内の照明の手動スイッチ化に 向けた工事の実施の検討 | キャンパス内の照明について状況を調査 <平成24年度実績> キャンパス内の照明のスイッチの状況を調査 | 調査結果の検討 <平成25年度実績> ・照明の手動スイッチ化工事について、方法、費用を検討す るとともに、他の節電方法(人感センサーの設置)を検討 | 調査結果の検討 | ・節電に効果的な手動スイッチ化及びこれに代わる節電方法(人感センサー等)について引き続き検討する。 | |

平成26年度 エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画

＜ 首都大学東京 南大沢キャンパス ＞

| 項目 | 計画期間における方向性 | | 各年度における実施事項 | | 平成26年度実施項目 |
|------------------------------------|--|---|--|--|--|
| | 平成24～26年度 | | 平成24年度 | 平成25年度 | |
| ③ハード対策 | ・省エネルギー性の高い機器への備品等の更新 | キャンパス内のサーバ等機器の集約及び学外のデータセンターの活用 の検討 ＜平成24年度実績＞ キャンパス内のサーバの一部について、学外データセンターを活用する委託契約を締結 | 次期教育研究用システム(センタ系)の稼働 ＜平成25年度実績＞ ・8月から新しい教育研究用システム(センタ系)を稼働して、キャンパス内のサーバを集約し、学外データセンターを活用することにより、使用電力量を削減 (最大で使用電力を85%(約85kW)削減、データセンター分を除いても46%(約46kW)削減) | 次期教育研究用システム(センタ系)の稼働 | ・新しい教育研究用システム(センタ系)の稼働(キャンパス内のサーバの集約、学外データセンターの活用)により、引き続き使用電力量を削減する。 |
| (2)廃棄物・汚染物質処理の適正化 | | | | | |
| | ・廃棄物・汚染物質処理に関する法令の遵守 | 環境関連法規管理台帳の作成 ＜平成24年度実績＞ 環境関連法規管理台帳を作成 | 環境関連法規管理台帳の内容の充実 ＜平成25年度実績＞ 環境関連法規台帳に掲載する法令を増加(法令数22→30) | 環境関連法規管理台帳の法人全体への展開 | ・南大沢キャンパスで作成している環境関連法規台帳について、他のキャンパスにおける同様の台帳の作成に資するため、展開していく。 |
| | ・廃棄物・汚染物質の排出量の削減策の検討・立案・実施 | ・廃棄物の分別処理及びリサイクルの調査 ・ペーパーレスの推進策についての検討 ＜平成24年度実績＞ ・廃棄物の分別処理及びリサイクルの実態を調査 ・ペーパーレスの推進策について検討 | ・調査に基づく廃棄物の分別処理及びリサイクル改善策の検討 ・ペーパーレスの推進策の立案 ＜平成25年度実績＞ ・弁当やカップめんの容器の分別方法について、キャンパス内における周知を徹底 ・本キャンパスにおいて事業系廃棄物として取り扱われているプラスチックについて、八王子市の家庭ごみと同様に分別処理することとした場合の方法、費用等について検討 ・コピー使用量の削減について、来年度から具体的な数値目標を設定(環境リーダー打合せ会において合意) | ・廃棄物の分別処理及びリサイクルの一層の徹底 ・ペーパーレスの推進策の実施 | ・廃棄物の分別処理について周知を一層徹底する。 ・プラスチックのリサイクルに向けて、南大沢キャンパスにおいて、八王子市の家庭ごみと同様に分別処理することとした場合の課題について引き続き検討する。 ・コピー使用量の削減目標を掲げて、ペーパーレスの推進を図る。 |
| 2 環境教育 | | | | | |
| (1)環境関連講座の実施 | | | | | |
| | ・都市教養プログラムの再編と環境関連講座の体系的整理と周知 | 都市教養プログラムの再編と環境関連講座の体系的整理 ＜平成24年度実績＞ 都市教養プログラムの中から「環境関連講座」を選定し、リーフレットを作成 | 環境関連講座の周知、受講促進 ＜平成25年度実績＞ ・エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会南大沢キャンパス部会において推奨を決定した「環境関連講座」を記載したリーフレットを教務課、文系管理課、理系管理課窓口において学生に配付し、学生による環境関連講座の履修を奨励(750部) ・上記リーフレットに、現場体験型インターンシップの環境関連の実習先について来年度からの掲載の準備 | 環境関連講座の周知、受講促進 | ・エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会南大沢キャンパス部会において推奨を決定した「環境関連講座」及び現場体験型インターンシップの環境関連の実習先を記載したリーフレットを学生に配付し、学生による環境関連講座及び環境関連インターンシップの履修を奨励する。 |
| | ・東京都、八王子市と連携した自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムの導入の検討・実施 | 導入(講義の一環として年4回実施) ＜平成24年度実績＞ 自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムについて東京都、八王子市と連携し、自然・文化ツーリズムコースの講義の一環として保全活動(下草刈り、間伐作業、植生調査)を計4回実施 | 継続して実施 ＜平成25年度実績＞ 自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムについて東京都、八王子市と連携し、自然・文化ツーリズムコースの講義の一環として、保全活動(下草刈り、間伐作業、植生調査)を計2回実施 | 継続して実施 | ・自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムについて、引き続き、東京都、八王子市と連携し、自然・文化ツーリズムコースの講義の一環として、保全地域の保全活動(下草刈り、間伐作業、植生調査)を実施する。(回数未定) |
| (2)学生が行う環境関連行動に対する単位の付与(インターンシップ等) | | | | | |
| | ・学生が行う環境関連行動に対して単位を付与する制度の検討(インターンシップ等) | 制度の検討 ＜平成24年度実績＞ インターンシップ等調査検討WGを設置し、調査、検討 | 制度の検討 ＜平成25年度実績＞ ・インターンシップ等調査検討WGにおいて、環境関連インターンシップの実施状況、環境関連活動に対する単位の付与状況について調査 ・「環境関連講座」推奨リーフレットに、現場体験型インターンシップの環境関連の実習先について来年度からの掲載の準備(再掲) | 制度の検討 | インターンシップ等調査検討WGにおいて、引き続き、学生が行う環境関連行動に対して単位を付与する制度(インターンシップ、地域の貢献活動等)について調査、検討する。 |
| (3)課外活動等における学生主体の環境関連行動 | | | | | |
| | ・エコキャンパス・グリーンキャンパスの推進に学生が主体的に参加できるしくみの検討・構築 | 学生が主体的に参加できるしくみの検討 ＜平成24年度実績＞ 課外活動検討WGを設置し、エコキャンパス・グリーンキャンパスの推進に学生が主体的に参加できるしくみについて検討 | 学生が主体的に参加できるしくみの検討 ＜平成25年度実績＞ 課外活動検討WGの事務打合せにおいて、学生団体が管理する施設への節電啓発ポスターの貼付、学生のエコキャンパス活動を促進するためのインセンティブ向上策について検討 | 学生が主体的に参加できるしくみの検討 | 課外活動検討WGを中心に、引き続き、エコキャンパス・グリーンキャンパスの推進に学生が主体的に参加できるしくみについて全学的に検討する。 |

平成26年度 エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画

＜ 首都大学東京 南大沢キャンパス ＞

| 項目 | 計画期間における方向性 | | 各年度における実施事項 | | | 平成26年度実施項目 |
|-------------------------------|--|---|--|------------------------------|---|------------|
| | 平成24～26年度 | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 3 環境研究 | | | | | | |
| (1)環境に関連する研究 | | | | | | |
| ①本学における温室効果ガスの削減や省エネルギーに役立つ研究 | | | | | | |
| | ・本学の温室効果ガスの削減や省エネルギーに役立つ研究の一層の推進 | ・研究 ・成果の公開 ＜平成24年度実績＞ 環境に関連するテーマにより研究者交流サロンを実施 「環境とエネルギー」(6月22日開催) 「都市と環境」(12月21日開催) | ・研究 ・成果の公開 ＜平成25年度実績＞ 環境に関連する研究テーマにより研究者交流サロンを実施 「生態系をひもとく数学・生物学・社会学」(6月25日開催) | ・研究 ・成果の公開 | ・関連する研究室がそれぞれ研究をさらに進めていく。 ・研究者交流サロンなどを通じて、引き続き、研究成果を学内外に広く公開して環境に関連する研究の気運を高める。 | |
| ②上記以外の環境全般に関連する研究 | | | | | | |
| | ・上記以外の環境全般に関連する研究の一層の推進 | ・研究 ・成果の公開 ＜平成24年度実績＞ 環境に関連するテーマにより研究者交流サロンを実施 「環境とエネルギー」(6月22日開催) 「都市と環境」(12月21日開催) | ・研究 ・成果の公開 ＜平成25年度実績＞ 環境に関連する研究テーマにより研究者交流サロンを実施 「生態系をひもとく数学・生物学・社会学」(6月25日開催) | ・研究 ・成果の公開 | ・関連する研究室がそれぞれ研究をさらに進めていく。 ・研究者交流サロンなどを通じて、引き続き、研究成果を学内外に広く公開して環境に関連する研究の気運を高める。 | |
| (2)環境関連研究を支援・促進する本学の体制 | | | | | | |
| ①環境関連研究のための資金の確保 | | | | | | |
| | ・節電等省エネルギーにより節減できた経費が環境関連研究費(本学における温室効果ガスの削減や省エネルギーに役立つ研究)に充てられるしくみの検討 | しくみの検討 ＜平成24年度実績＞ 環境関連研究資金確保調査検討WGを設置し、調査、検討 | しくみの検討 ＜平成25年度実績＞ 環境関連研究資金確保調査検討WGにおいて、省エネルギーにより節減できた経費を研究費に反映するしくみを実際に運用している他大学の事例を参考にして、本キャンパスに導入した場合の課題、問題点について検討 | しくみの検討 | ・環境関連研究資金確保調査検討WGにおいて、引き続き、環境関連研究のための資金が確保されるしくみについて、課題、問題点について調査し、今後の方策について検討していく。 ・引き続き環境関連研究に外部資金が導入されるよう努める。 | |
| ②支援・促進体制 | | | | | | |
| | 本学における環境関連研究を支援・促進するしくみの検討 | しくみの検討 ＜平成24年度実績＞ 環境マネジメント検討WGを設置し、検討 | しくみの検討 ＜平成25年度実績＞ 環境マネジメント検討WGにおいて、研究者に対するインセンティブの付与方策について検討 | しくみの検討 | ・環境マネジメント検討WGを中心に、引き続き、本学における環境関連研究を支援・促進するしくみについて全学的に検討していく。 | |
| 4 環境マネジメント | | | | | | |
| (1)法令等の遵守 | | | | | | |
| | ・省エネ法、環境確保条例等で定められている法令の遵守 | ・役職者の適切な選任 ・報告書・計画書の適切な提出 ＜平成24年度実績＞ ・省エネ法関係で定める役職者を選任(エネルギー管理統括者:事務局長、エネルギー管理企画推進者:総務部長) ・7月に省エネ法で定める中長期計画書及び定期報告書を環境省及び文部科学省に、11月に環境確保条例で定める地球温暖化対策計画書を東京都に提出 | ・役職者の適切な選任 ・報告書・計画書の適切な提出 ＜平成25年度実績＞ ・省エネ法関係で定める役職者を選任(エネルギー管理統括者:事務局長、エネルギー管理企画推進者:総務部長) ・7月に省エネ法で定める中長期計画書及び定期報告書を環境省及び文部科学省に、また11月に環境確保条例で定める地球温暖化対策計画書を東京都に提出 | ・役職者の適切な選任 ・報告書・計画書の適切な提出 | ・省エネ法関係で定める役職(エネルギー管理統括者、エネルギー管理企画推進者)を適切に選任する。 ・省エネ法で定める中長期計画書、定期報告書及び環境確保条例で定める地球温暖化対策計画書を適切に提出する。 | |
| | ・法令遵守の体制の構築、日々のチェックシステムの検討・構築 | 環境関連法規管理台帳の作成 ＜平成24年度実績＞ 環境関連法規管理台帳を作成(再掲) | 環境関連法規管理台帳の内容の充実 ＜平成25年度実績＞ 環境関連法規台帳に掲載する法令を増加(法令数22→30)(再掲) | 環境関連法規管理台帳の法人全体への展開 | ・南大沢キャンパスで作成している環境関連法規台帳について、他のキャンパスにおける同様の台帳の作成に資するため、展開していく。(再掲) | |
| (2)環境マネジメントシステムの構築 | | | | | | |
| | ・エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会の拡充などより幅広い省エネ体制の構築 | 委員会の拡充等 ＜平成24年度実績＞ エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会南大沢部会の委員について、関係各部署の委員を拡充(委員数14名⇒20名) | 幅広い省エネ体制の構築 ＜平成25年度実績＞ エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会南大沢キャンパス部会を3回開催するとともに、同部会の下に設置したWG等を計11回開催し、本キャンパスにおける省エネルギーの推進について、幅広く検討(環境マネジメントWG3回、環境関連研究資金確保調査検討WG1回、インターンシップ等調査検討WG2回、課外活動等検討WG事務打合せ2回、環境リーダー打合せ2回) | 幅広い省エネ体制の構築 | ・エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会南大沢キャンパス部会を中心に、引き続き、幅広い省エネ体制の構築を図っていく。 | |
| | ・南大沢キャンパス部会の下に幅広い教職員参加のWG等の設置 | 幅広い教職員が参加するしくみづくり ＜平成24年度実績＞ 庶務担当係長等を新たに環境リーダーに選任し、打合せ会を開催 | 幅広い教職員が参加するしくみづくり ＜平成25年度実績＞ ・環境マネジメント検討WGにおいて、幅広い教職員の参加に向けた条件整備について検討 ・今後における環境リーダーの拡充について、環境マネジメント検討WG及び環境リーダー打合せ会において検討 | 幅広い教職員が参加するしくみづくり | ・環境マネジメント検討WGを中心に、引き続き、幅広い教職員の参加が可能となるしくみについて検討する。 ・今後における環境リーダーの拡充等について引き続き検討する。 | |

平成26年度 エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画

＜ 首都大学東京 南大沢キャンパス ＞

| 項目 | 計画期間における方向性 | | 各年度における実施事項 | | | 平成26年度実施項目 |
|--------------------|------------------------------------|--|--|--|---|-------------------------|
| | 平成24～26年度 | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| | ・幅広い分野での連携した取組み | 幅広い教職員が参加する取組みの検討 ＜平成24年度実績＞ 環境マネジメント検討WGを設置し、幅広い教職員が参加する取組み、学生が参加できるしくみについて検討 | 幅広い教職員が参加する取組み ＜平成25年度実績＞ 必要な照明以外点灯しないこと、冷暖房時に適正な室温を設定すること、照明の間引きを行うことについて、教職員に対して、幅広く、ポスター、文書により取組みを呼びかけ | 幅広い教職員が参加する取組み | 環境マネジメント検討WGを中心に、引き続き、幅広い教職員が参加する取組みについて立案し、可能なものから実施していく。 | |
| | ・学生の省エネ組織の設置 | 学生が主体となった省エネ組織の設置に向けた検討 ＜平成24年度実績＞ 課外活動検討WGを設置し、学生が主体となった省エネ組織について検討 | 学生が主体となった省エネ組織の設置に向けた検討 ＜平成25年度実績＞ 課外活動等検討WG事務打合せにおいて、学生が主体となった省エネ組織の設置に向けて、母体となり得る団体、学生の主体的な活動に対するインセンティブの付与、学生による環境関連活動を対象にした表彰制度の創設について検討 | 学生が主体となった省エネ組織の設置に向けた検討 | 課外活動等検討WGを中心に、引き続き、学生が主体となった省エネ組織の設置について、全学的に検討する。 | |
| | ・学生と教職員との協働活動の推進 | 学生と教職員との協働による活動の検討・実施 ＜平成24年度実績＞ 環境マネジメント検討WGを設置し、学生と教職員との協働活動について検討 | 学生と教職員との協働による活動の検討・実施 ＜平成25年度実績＞ ・環境マネジメント検討WGにおいて、エコキャンパス・グリーンキャンパスの推進に向けた学生と教職員との協働活動を実現するための条件整備について検討 ・学生団体が管理する施設に節電啓発ポスターを貼付 | 学生と教職員との協働による活動の検討・実施 | 環境マネジメント検討WGを中心に、引き続き、エコキャンパス・グリーンキャンパス推進に向けた学生と教職員との協働活動について全学的に検討し、可能なものから実施していく。 | |
| | ・成果についてのHP公表 | HP公表 ＜平成24年度実績＞ 大学HPのトップページに専用コーナー「エコキャンパス・グリーンキャンパス～環境負荷の軽減～」を開設し、夏の電力使用抑制とその成果、冬の電力使用抑制、南大沢キャンパスにおける特定温室効果ガスの削減状況等について掲載 | HP継続 ＜平成25年度実績＞ 大学HPの専用コーナーに、引き続き、エコキャンパス・グリーンキャンパス推進に向けた活動の成果を掲載 | HP継続 | 大学HPの専用コーナーに、引き続き、エコキャンパス・グリーンキャンパス推進に向けた活動の成果を掲載していく。 | |
| | ・取組み状況についての環境白書の作成 | 環境白書の作成準備 ＜平成24年度実績＞ 環境白書の作成に向けて構成、概要の取りまとめ | 環境白書の作成 ＜平成25年度実績＞ 本格的な環境白書の作成に向けて、「首都大学東京南大沢キャンパス環境レポート」を作成 | 環境白書の作成 | 平成25年度に作成した「首都大学東京南大沢キャンパス環境レポート」を基礎として、環境白書を作成していく。 | |
| (3)その他 | | | | | | |
| ii) PDCAサイクルの管理・運用 | i) 「見える化」の推進 | まず、ロードマップを策定し、これに沿って必要な財源措置を講じながら「見える化」を実現 | ロードマップの策定 ＜平成24年度実績＞ ・ロードマップを策定し、ロードマップに基づき予算要求 ・24年度に行った施設整備工事の中で、一部、電力計測器を取付け | ロードマップに基づく見える化の推進 ＜平成25年度実績＞ ロードマップに基づき、必要な予算を要求 | ロードマップに基づく見える化の推進 | ロードマップに基づき、必要な予算要求等を行う。 |
| | ・南大沢キャンパス部会の活動の活性化 | 活性化策の検討 ＜平成24年度実績＞ 環境マネジメント検討WGを設置し、部会の活性化について検討 | 活性化策の実行 ＜平成25年度実績＞ 環境マネジメント検討WGにおいて、南大沢キャンパス部会の一層の活性化に向けて、実験用機器の更新の促進のための新しいWGの立上げについて検討 | 活性化策の見直し | 環境マネジメント検討WGにおいて、引き続き、南大沢キャンパス部会の活性化について検討し、可能なものから実施していく。 | |
| | ・取組み方法の見直し、新しい取組みへの反映について委員会・部会で検討 | 点検(Check)、見直し(Action)の実行計画(Plan)、実行(Do)への反映 ＜平成24年度実績＞ 環境マネジメント検討WGを設置し、取組み方法の見直し、新しい取組みへの反映について検討 | 点検(Check)、見直し(Action)の実行計画(Plan)、実行(Do)への反映 ＜平成25年度実績＞ 環境マネジメント検討WGにおいて、これまでの節電対策について見直しを行うとともに、温室効果ガス削減に係る第2期(平成27年度～31年度、削減義務が8%→17%)に向けて、今後における実験用機器の計画的な更新について検討 | 点検(Check)、見直し(Action)の実行計画(Plan)、実行(Do)への反映 | 環境マネジメント検討WGにおいて、これまでに取り組んだ対策について取りまとめ、取組み方法の見直し、新しい取組みへの反映について引き続き検討する。 | |

平成26年度 エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画

＜ 首都大学東京 南大沢キャンパス ＞

| 項目 | 計画期間における方向性 | 各年度における実施事項 | | | 平成26年度実施項目 |
|----------|--|---|--|---------------------------|---|
| | 平成24～26年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 5 地域社会貢献 | | | | | |
| | ・東京都、八王子市と連携した自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムの導入の検討・実施(再掲) | 導入(講義の一環として年4回実施) ＜平成24年度実績＞ 自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムについて東京都、八王子市と連携し、自然・文化ツーリズムコースの講義の一環として保全活動(下草刈り、間伐作業、植生調査)を計4回実施(再掲) | 継続して実施 ＜平成25年度実績＞ 自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムについて東京都、八王子市と連携し、自然・文化ツーリズムコースの講義の一環として、保全活動(下草刈り、間伐作業、植生調査)を計2回実施(再掲) | 継続して実施 | ・自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムについて、引き続き、東京都、八王子市と連携し、自然・文化ツーリズムコースの講義の一環として、保全地域の保全活動(下草刈り、間伐作業、植生調査)を実施する。(回数未定)(再掲) |
| | ・オープンユニバーシティにおける環境関連講座の提供 | 提供 ＜平成24年度実績＞ オープンユニバーシティにおいて環境関連講座を6講座実施 | 提供 ＜平成25年度実績＞ ・オープンユニバーシティにおいて環境関連講座を2講座実施 | 提供 | ・オープンユニバーシティにおいて環境関連講座を引き続き開設していく。 |
| | ・東京都及び八王子市等の関係部署との協議体制の構築 | 東京都、八王子市等の関係部署との協議体制の検討 ＜平成24年度実績＞ 協議体制の構築について、東京都及び八王子市の担当者と協議 | 東京都、八王子市等の関係部署とのネットワークづくり ＜平成25年度実績＞ ・現在行っている東京都と首都大学東京との連携の状況についてリストアップし、引き続き連携を推進していくことについて東京都と確認 ・八王子市との関係部署との協議体制について、参加者、協議の項目について検討 | 東京都、八王子市等の関係部署とのネットワークづくり | ・東京都と首都大学東京との連携の推進に向けて、引き続き、ネットワークづくりに努めていく。 ・八王子市との関係部署との協議体制の構築を進める。 |
| | ・地域のNPOその他の団体との連携した取組みの検討・推進 | 検討・推進 ＜平成24年度実績＞ ・八王子市の大学団体である大学コンソシアム八王子の担当者と環境関連活動について協議 ・グリーンキャンパスプログラムの実施にあたって地域のボランティア団体と協働 | 検討・推進 ＜平成25年度実績＞ ・地域のNPO団体(八大緑遊会(NPO法人八王子サポートセンター))と協働し、グリーンキャンパスプログラムを計2回実施(再掲) | 検討・推進 | ・自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムにおける地域のNPO団体(八大緑遊会(NPO法人八王子サポートセンター))との協働を引き続き進めるとともに、さらなる取組みについて検討していく。 |
| 備考 | | | | | |